

トピック ― キャベツの需給状況 ―

キャベツの価格は、平年より安い状況が続いている。
8月からの動向を見ると、入荷量は8月はほぼ平年並み、9月は平年を下回ったものの、価格は、平年をかなり下回って推移している。

これは、6月から7月にかけて入荷量が多く荷余り感が強かったところに、夏の気温が平年より高めに推移し、9月に入っても残暑が厳しかったことから、葉茎菜類であるキャベツの消費が減少したことによるものと考えられる。

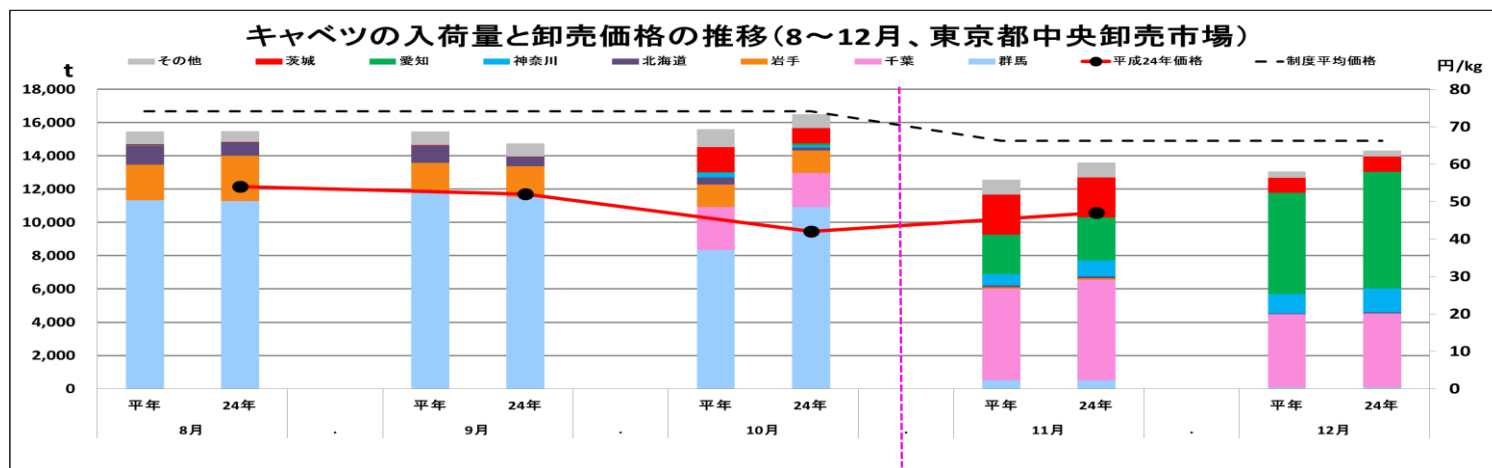
10月に入っても、群馬産が適度な降雨の影響等で肥大が進み入荷が増加したことから、価格はさらに下回って推移し、11月も後続の産地の入荷が順調なことから、価格が低迷しているところである。

今後も、主産地の愛知産や、千葉産が好天に恵まれ、順調な生育で潤沢な入荷量が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移するものと思われる。

ところで、キャベツの1人当たりの購入数量を見ると、気温の低下とともにサラダの消費が減少し、鍋物需要等によりはくさい等の消費が増加する影響を受けて、冬場は減少する傾向がみられる。

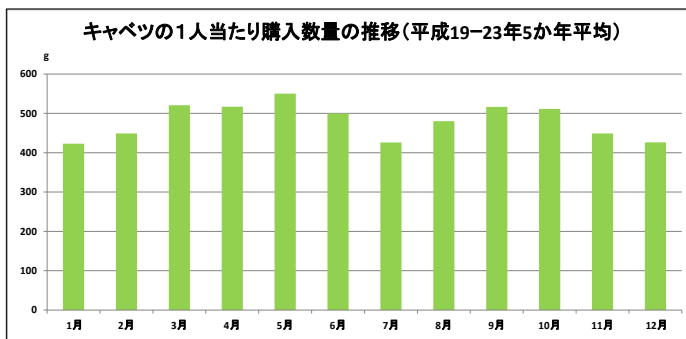
キャベツには、かぜを予防するビタミンCや胃かきよう等の予防に効果があるビタミンU等が含まれており、忘年会等で弱った胃をいたわるためにも、多く摂取したい野菜の一つである。

農林水産省では、このような状況を踏まえて、新たにキャベツを使ったレシピを紹介している。これを参考にすることで、キャベツをこれまでに多く摂取してみたい。



注) 入荷量は、10月までは実績。11月と12月は、愛知県、神奈川県及び千葉県は、全国農業協同組合連合会の秋冬野菜（キャベツ）の主産県の出荷見通しをもとに推定し、3県以外は、平年の数字を用いた。11月の価格は、上旬の価格。

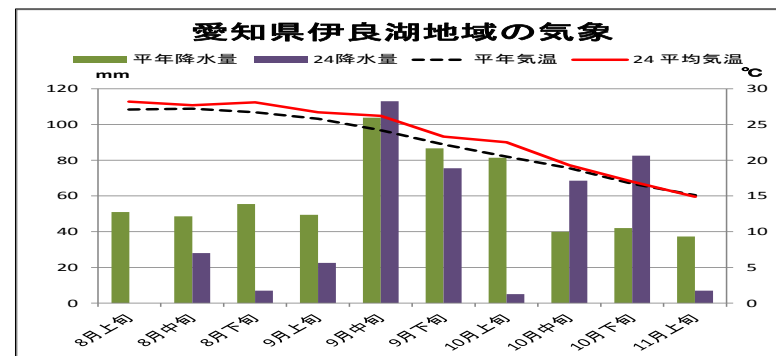
資料：青果物情報センター、全国農業協同組合連合会「秋冬野菜（キャベツ）の主産県の出荷見通し」



資料：ペジ探(原資料)総務省「家計調査(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

農林水産省「キャベツ、はくさいの消費拡大」のHP

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/kakudai/index.html>



資料：ペジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。